

関係者との意見交換会

令和5年5月20日(日) 16:00～18:00

寺井地区公民館



能美市における医療の現状や医療DXを学び、今後の議会活動や市政に反映することを目的に、医師会および地域医療関係者との意見交換会を対面とZoomによる参加で開催しました。1部は講演会、2部では意見交換会と二部制で行いました。

国と日本医師会が考える これからの医療DXについて

石川県医師会
佐原 博之 理事

国が定める医療DXの考え方に沿って行われている具体的な施策や、医療DXに対する日本医師会の考えをご講演いただきました。

ギカイの視点 標準化電子カルテなど、今後の展開が期待される。

コロナ禍における南加賀の 医療の経験について

石川県南加賀保健福祉センター
沼田 直子 所長

コロナ対応の最前線として、現場でどのようなことが起き、事務のDXを進めながらどう乗り越えてきたのかをご講演いただきました。

ギカイの視点 いかに正確な情報を収集できるかがDXのカギである。

能美市の医師会活動について

能美市医師会
木田 泰弘 会長

能美市医師会が市や南加賀保健福祉センターと協働で行っている事業について、医療コーディネーターによる在宅復帰支援の取り組みなどをご紹介いただきました。

ギカイの視点 能美市医師会の役割を再認識することができた。

1部
講演会

医療DXを考える



講演中の木田 泰弘 先生

医師会および地域医療



2部 意見交換会

今の電子カルテは非常に高額であるが、多くの方が使うようになれば価格競争が生まれ、より安価で性能の良いサービスが生まれてくると考えている。

電子カルテの費用対効果はどうか

紙のカルテをデータ化することで、患者の情報を医療機関内でスムーズに共有できる※ようになり、業務の効率化につながる。

※患者の承諾があった場合に限る

電子カルテを導入するメリットは



歯科医院ではカルテの電子化はまだ進んでいない。調剤薬局での電子処方箋の受付もほとんどない状況である。

医療現場におけるデジタル化の現状は

DXが進むなかでも対面で行っていきたいことはあるか
今、問題となっているのがオンライン診療。患者さんと話すことはできるが、直接診たり、身体を触ったりすることがとても大切だと考えている。

 **YouTubeで**
当日の様様を配信しています。

YouTubeで「能美市議会」と検索するか、右のQRコードを読み取ってください。

